令和7年度 事業計画書

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

□ はじめに

本財団は、創立者・岡田茂吉の思想哲学に基づき、世界的な美術思想の涵養を通じて、人間の品性の向上及び平和愛好思想の醸成を図ることにより、高度の文化的芸術国家の建設に寄与することを目的とし、美術品等の収集・保存・展示・公開、美術に関する調査研究・国際交流、美術教育、芸術家養成、学術・技芸の教授・普及などの日本文化の普及昂揚に関する事業を行う。

令和6年度は、文化庁の「MOA美術館を中核にした『国際観光温泉文化都市』をめざす熱海の文化観光を推進する拠点施設機能強化事業」、独立行政法人日本芸術文化振興会との共催による「日本博2.0」を中心に、展覧会事業として、世界的に知名度の高い「ポケモン」を題材とした「ポケモン×工芸展 -美とわざの大発見-」をはじめ、「光琳 国宝「紅白梅図屏風」×重文「風神雷神図屏風」等の開催など、インバウンドの強化も相まって、内外からの財団事業に対する興味関心の高まりや来館者の増加等、一定の成果を挙げる事ができた。

令和7年度は、美術館運営をはじめとする美術教育普及事業の持つ社会的な使命役割を果たすべく、「日本博2.0」事業としての「世界文化フォーラム」の開催を通じて、国際社会への「日本文化」発信、MICE事業の推進、MOA美術館のブランド化を進めていく。

更には美術館としての「点」の活動から「地域の活性化」を目指したインバウンドの強化を図り、障がい者雇用等の「共生社会」の推進へと再投資する等、地域と共に美術館事業やその他美術文化普及事業の一層の拡充に取り組む。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館は、年間300日程度開館し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に、テーマに沿って展示する。

箱根美術館も同様、年間300日程度開館し、日本陶磁器を中心に展示する。

(1) MOA美術館

- ① 広重 EDO×TOKYO 今と昔
令和7年3月14日(金)～4月22日(火)
- ② 北斎 The Great Wave×Digital 2.0
令和7年4月25日(金)～6月10日(火)
- ③ 技 -WAZA- 人間国宝展
令和7年7月13日(金)～7月22日(火)
- ④ 蔦重の眼 歌麿・写楽と浮世絵黄金時代
令和7年7月25日(金)～9月9日(火)
- ⑤ プロジェクション又兵衛絵巻 重文 浄瑠璃物語絵巻
令和7年9月12日(金)～10月21日(火)

- ⑥ 琳派デザイン 宗達・光琳・抱一
令和7年10月24日(金)～12月14日(日)
- ⑦ 光る海 吉田博展
令和7年12月20日(土)～2026年1月27日(火)
- ⑧ 名品展
令和8年1月30日(金)～令和7年3月17日(火)

- (2) 箱根美術館
日本および中国・朝鮮半島の陶磁の展示

2. 賛助会員（友の会）の募集・拡大

「友の会」会員に、年2回刊行「美の友」頒布や「友の会カレンダー」の頒布等のサービスの充実を進めて、「友の会」会員の増加に努める。

II. 表彰・コンクール事業

1. 第36回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培うことを目的とした表記の全国展を開催し、表彰と展示を行なう。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供など）を行なう。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定する。
(令和6年度実績：289会場、応募数183,287点、参加校5,574校)
- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館での全国展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定する。

(2) 賞の種類と点数

- ① 絵画の部（令和6年度実績）
 - a) 内閣総理大臣賞 1点
 - b) 文部科学大臣賞 6点
 - c) 外務大臣賞 3点
 - d) 内閣府特命担当大臣賞 1点
 - e) 農林水産大臣賞 1点
 - f) 環境大臣賞 1点
 - g) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - h) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - i) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - j) 審査員賞 2点
 - k) MOA美術館特別奨励賞 1点
金賞から入選 201点

- ② 書写の部（令和6年度実績）
- a) 内閣総理大臣賞 1点
 - b) 文部科学大臣賞 6点
 - c) 内閣府特命担当大臣賞 1点
 - d) 農林水産大臣賞 1点
 - e) 環境大臣賞 1点
 - f) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - g) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - i) 審査員賞 1点
- 金賞から入選 66点

- ③ 団体の部（令和6年度実績）
- a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校
 - b) 内閣府特命担当大臣賞 2点

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

令和8年2月予定。MOA美術館“能楽堂”において表彰式を行うとともに、MOA美術館1階に於いて「MOA美術館全国児童作品展」を開催予定。

(4) 児童作品を通しての国際交流展の開催（日タイ交流展等）

(5) 児童作品展ホームページの運用および改良

2. 芸術選奨

- (1) 岡田茂吉賞の授与、表彰式ならびに展覧会の開催
本年度はなし。

(2) 賞の交付

- ① 日本工芸会 奨励賞
- ② 伝統工芸陶芸部会展
- ③ 日本伝統工芸染織展
- ④ 日本伝統漆芸展
- ⑤ 伝統工芸日本金工展
- ⑥ 伝統工芸木竹展
- ⑦ 伝統工芸人形展
- ⑧ 伝統工芸諸工芸展—七宝・硝子・硯・砥・截金・砂子等—

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

MOA美術館茶の庭内の茶室—白庵及び箱根美術館の茶室真和亭で実際に茶庭・茶室・茶道具等に触れて抹茶を点てて喫する茶の湯、いけばな等のワークショップを通して日

本文化を体験する事業を行うとともに、茶道文化に接する機会を増やすため当館及び外部での茶会などを開催する。

(1) 茶会

光琳乾山忌茶会

令和7年6月2日(日)・6月3日(月)

(2) 能楽教室 体験・講座と鑑賞

令和7年7月28日(月)

能「羽衣」観世流宗家 観世三郎太 狂言「茶壺」 野村萬斎

(3) 工芸ダイニング 2025 (日本博2. 0事業)

インバウンド充実を目的に、伝統工芸食器を用いての和食提供と伝統芸能鑑賞のコラボを実施予定

熱海会場：令和7年11月15日(土)～19日(水)

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及や情操教育、地方創生を目的とした、能楽堂における演能会や舞踊公演などの伝統芸能および音楽会等、芸術鑑賞会の開催。

(1) 春の演能会

能「俊寛」 金剛宗家 金剛永謹、狂言「蝸牛」 大蔵流 山本泰太郎

令和7年4月26日(土)

(2) 坂東玉三郎コンサート

令和7年7月4日(金)、5日(土)

(3) 秋の演能会

能「船弁慶」 宝生流宗家 宝生和英

狂言「萩大名」 和泉流 野村万蔵

令和7年10月12日(日)

(4) 坂東玉三郎公演

1. 口上 2. 隅田川

令和7年11月15日(土)～19日(水)

(5) 50周年記念 千住真理子コンサート

令和7年12月27日(土)

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

① 花の美を楽しむ中から情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、企業や学校等に向けたいけばなの講座を実施する。今年度は光輪花を紹介するための広報用ツール(動画)作成にも取り組む。

② 創立者の願いである生活の芸術化を具体化するべく、改訂したテキスト、カリキュラムに基づき「美的生活コース」「芸術コースⅠ」「芸術コースⅡ」を推進する。

③ 講習会(花サロン・花ひろば)

気軽に花を楽しめるカリキュラム・資料を作成し、講習会（花サロン・花ひろば）を社会に広げ、光輪花クラブに繋げる。また、これに伴って初心者でも美しく花をいけられ、満足感が得られるためのアドバイスの在り方を示す。

④ キッズ光輪花クラブ

光輪花クラブの子ども用のカリキュラム、制度、テキストに基づき「キッズ光輪花クラブ」を推進する。

⑤ MOA美術文化インストラクターの拡充

光輪花クラブを主催するインストラクターの拡充を図るため、新規インストラクター資格審査、及びインストラクターの資質の向上を図る研修会を定期的で開催する。

⑥ 財団が進める美術文化活動全般を担う専門家及びインストラクターリーダーの養成

当財団が進める美術文化活動全般を社会に向けて実践し、インストラクターをリードできる専門人材、及びインストラクター会議を牽引できる次世代のインストラクターリーダーを養成すべく、今年から研究を積み上げる。

⑦ 光輪花クラブ開講インストラクターへの支援

光輪花クラブを開講するインストラクターへの支援として、規準に基づく経費補助を行う。

⑧ 光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展に参加し、光輪花クラブインストラクターLINEの活用やホームページも充実する。

⑨ 光輪花クラブを中心とする美術文化活動の推進会合を定期的で開催する。

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、美術教育の普及に努める。また美術文化活動の牽引役となる青年人材を育成するための研修を行う。

1. 美術教育

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 小中学校への出張授業の推進
- ② 小中学校における図画工作・美術科授業への教材の提供と開発協力
- ③ 静岡県及び内外における美術教師とのネットワーク構築

(2) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

(3) 美術品の鑑賞手引き

- ① 小中高生を対象とした展覧会ガイド
- ② 教職員対象のセミナーなど

(4) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

- ① 幼児および小中高生を対象としたプログラム
- ② 教職員を対象としたプログラム

(5) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ・インターンシップ実施

2. アートボランティア活動の充実

アートボランティア一人一人のスキルアップと活動参加意欲を高め、お客様満足度の向上をめざし、資料の充実やコミュニケーションの充実、情報共有の強化を、SNS等も活用しながら図っていく。またボランティア受け入れにあたる職員の資質向上の取り組み（研修等）を実施していく。

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) DX改革の推進
- (2) 顧客満足循環型経営への改善
- (3) 観光客の誘致・誘客の改善強化など
- (4) コスト削減と自立経営に向けた経営改善の遂行
- (5) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進
- (6) ユニークベニューの推進

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) 展覧会やイベント、庭園に焦点をあてた広報・営業活動の推進
- (2) 地元住民に開かれた美術館に向けての取り組み
- (3) ホームページやSNS等による広報の充実
- (4) 多様な決済手段への対応による来館者の利便性向上、キャッシュレス化推進
- (5) 自動券売機システム導入によるチケット・友の会カードのQRコード対応への移行
- (6) インバウンド誘致のための工芸ダイニングの廉価版「インバウンド版工芸ダイニング」の実施
- (7) 受入れ体制の強化（人材の確保、館内・屋外の運営、飲食場所、危機管理、等）
- (8) インバウンド対応力向上等、職員・従業員の能力・資質を高める取り組み（英会話研修の実施、意識づくりのためのワークショップ、パート職の戦力化、等）
- (9) デジタル技術を活用した美術品や諸施設の多言語解説の取り組み
- (10) 各展覧会用の動画コンテンツ作成（日本博2.0と関連）
- (11) ラグジュアリー層向け企画実施（早朝・閉館後のプログラム等）の取り組み
- (12) 円形ホール等の照明・演出等の改善
- (13) アートガーデン構想（芝生広場の花壇～桜山構想）

3. 施設の貸与事業

伝統文化の普及啓発・ユニークベニュー推進のため、当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人に対して積極的に茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂等の施設貸出を行う。

- (1) 茶室・茶の庭の貸出
光琳茶会 令和8年2月16日（月）・17日（火）
- (2) 能楽堂の貸出
 - ① 公益に資する事業への貸出
 - ② ユニークベニュー推進に伴う貸出

4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

- ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修
（Wi-Fiの感度向上や死角の除去 他）
- ② 美術館の防災、防犯の設備強化
（監視システム更新整備・緊急用食料・防寒具等の備蓄、国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策補助申請、他）
- ③ 危機管理体制の整備・強化
（防災訓練実施、施設巡視・職場巡視の定期実施 他）
- ④ 箱根美術館本館の改修（外壁、展示室照明、他）
- ⑤ 箱根美術館休憩所の改修

(2) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施 展示の研究と実施

(3) 植樹をはじめ、庭園の改善整備

5. 補助金申請事業

(1) 日本博2.0

- ① 工芸ダイニング2025（高付加価値旅行事業とその廉価版の造成）
- ② 世界文化フォーラム
- ③ インバウンド・プロモーション（観光DXの構築と海外プロモーション）
- ④ 文化施設の充実（アートガーデン整備2期目と案内表示の多言語化）

6. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

新メニューの開発、充実、地域特産品の活用等

(2) ミュージアムショップ（店舗及びオンライン）の運営

以上